

「平成 29 年度 牛繁殖技術セミナー」を開催しました

乳用牛の後継牛確保が課題となっていることから、2018年1月25日（木）、受胎率向上等に関わる繁殖技術として超音波画像診断装置の活用を主とした「牛繁殖技術セミナー」を、帯広畜産大学獣医臨床繁殖学教室 教授 松井基純先生を講師にお招きして日高生産農業協同組合連合会ビルで開催しました。地域の農業共済組合ならびに開業獣医師、および酪農家等多数の方々が参加されました。

セミナーでは、超音波画像診断装置の原理や使用方法をはじめ、雌雄生殖器の構造など基礎的な内容や生殖器の診断について丁寧に説明頂きました。

また、超音波画像診断装置を用いた卵巢機能診断、妊娠診断、子宮疾患の診断及び胎子の雌雄判別と双子妊娠の診断について、プローブの使い方も交えて多くの超音波画像を用いてお話し頂き、トレーニングと経験等が必要であるものの、早期に正確な診断が可能となる等のメリットがあることが紹介されました。

更に、今後は人工授精師も含めて活用の方が広がっていくと思われ、超音波画像診断装置の直腸プローブによる感染症伝播防止対策としての消毒は手間がかかるが、特に注意しなければならないとの、普及に向けた注意も頂きました。

受講者からは、早期妊娠診断における早期胚死滅に関する疑問や体内受精卵採卵後の処置や多胎子の場合の対応などについて質問がありました。

このたびのセミナーが、受講者の皆様の繁殖技術向上の一助となる事を期待しています。



講義の様子



質疑応答の様子